

WS
11

絵画を楽しむ < 前期 >

※実技が中心。
第1回前半のみ講義

【定員】 25名 【受講料】 2年・1年会員・聴講生ともに30,250円 (静物画モチーフ、人物画モデル代として4,000円を含みます。)

【美術】 芸術 ワークショップ 【時間】 毎回17時00分～19時30分 (計10回)

概要

初心者から経験者も含めて、油彩と水彩を深く楽しむ講座です。絵画材料について理解し、1回ごとの描画プロセスを着実に積み重ねて進めていきます。みずからの感覚をとおして観察し描くことで、創造の喜びを発見することでしょう。

回	月/日(曜)	会場	学習内容		講師名(敬称略)
1	4/16(水)	川崎市生涯学習プラザ	静物A	講義および制作 1 構図の決定、明暗をともなった下素描をします。 絵具によるキアロスクーロ。(単色の明暗対比表現)	NHK文化センター講師 佐藤 道子
2	4/23(水)			2 固有色の注意深い観察。色調の調和と対比を心がけます。	
3	5/14(水)		静物B	1 構図の決定、明暗をともなった下素描をします。 絵具によるキアロスクーロ。(単色の明暗対比表現)	
4	5/21(水)			2 固有色の観察し、自分独自の色調をさぐります。	
5	5/28(水)		人物A (着衣)	1 構図の決定と下素描。人体の比例、動き、量感を捉えます。 単色彩色によるキアロスクーロで大まかな明暗を施します。	
6	6/4(水)			2 明色と暗色の大きな色彩の分布の流れに注目して、立体感や空間感を表していきます。	
7	6/18(水)			3 色彩を伸び伸びした大きな筆致で塗り、感動を明確にしていきます。	
8	6/25(水)		人物B (裸婦)	1 構図の決定と下素描。人体の比例、動き、量感を捉えます。 単色彩色によるキアロスクーロで大まかな明暗を施します。	
9	7/2(水)			2 色彩と形態を観察しながら描き進めます。 感じたものが表われるように思いきって描きましょう。	
10	7/9(水)		講評会	これまで描いた作品についての受講生のスピーチと、講師の講評を行います。	

連絡事項

4/16 (第1回) から実技を行います。必要な持ち物は、受講決定通書知内でご案内いたします。